

(福) 豊寿会

岐阜市・福祉

平成30年度
認定

特別養護老人ホームなどから成る「サンライフ彦坂」や障がい者施設「あいそら羽島」などを運営。サンライフ彦坂の歯科診療所では、職員の治療費の自己負担分を法人が負担したり、職員親睦旅行に家族の参加を認めるなど福利厚生力の充実力を入れる。

従業員数／男性46名 女性125名 計171名 ※平成31年1月現在

ハード面、ソフト面で働き方改革着々

年間休日が少ないと言われる福祉業界では珍しく年間休日を120日としている。勤務シフトの作成時には休暇取得日の希望を柔軟に受け付けるほか、勤続10年で5日、15年で10日等のリフレッシュ休暇制度もあり2017年度は11人が取得した。産休・育休も取りやすい風土があり、「あいそら羽島」で

は19年1月現在、職員75人中6人が取得している。

育休等の人員補充のために採用した中高年齢の職員や勤続年数を重ねた職員の身体的負担を軽減させるため、16年に「あいそら羽島」で介護リフトを導入。効果が高かったため今ではサンライフ彦坂のトイレや浴室等にも設置している。「あいそら羽島」の介護員種田辰也さんは「リフトの導入で、職業病とも言われる腰痛がなくなった。抱きかかえるよりも利用者の負担も少なく安全で、操作中はゆっくりと話す機会にもなっている」と導入を喜ぶ。

時間外労働削減への取り組みとしては、委員会や内部研修を勤務時間内に実施するほか両施設で介護記録ソフトを活用。今では各職場にiPadを配備し介護記録を入力できるようにしている。iPadからはグループウェアを利用して決裁



介護記録の入力や職員同士の情報共有等でiPadを活用。各職員が操作に慣れたことなどから時間外労働削減に効果が出ている。

書類のやり取りなどもできることから、職員から「決裁印を押してもらったために残業することがなくなった」との声が上がっている。取り組みが定着し時間外労働時間は月平均23時間まで削減できた。

キャリアアップ支援のために、パート職員の面談を年1回実施。条件を満たせば正社員や契約社員になることが可能で、現在勤務中の職員だけでも18人を昇格させている。



介護リフトを使って利用者をベッドの上から車椅子へと移乗する介護員の種田辰也さん。最初は怖がっていた利用者もすくすくに慣れ、今では安心した表情を見せる。